

盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況

基本目標 1 切れ目のない結婚・出産・子育て支援

【数値目標】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度 ¹
出生数(各年の1月1日現在)	人	2,476	2,401	2,476	△
婚姻件数(各年の1月1日現在)	件	1,527	1,588	1,527	◎

(参考) 各値とも、H26はH25.1.1～H25.12.31の合計、H27はH26.1.1～H26.12.31の合計

○出生数は、維持を目標としているが、前年比27年△75人に減少している。出生数の減少は、出産する年齢の女性人口の減少による影響が大きいものと考えられる。

○婚姻件数は、27年+61件となり、増加しているものの、短期的には横這い傾向と見られるが、初婚年齢の高年齢化などもあることから、更なる分析が必要である。

【岩手県保健福祉年報における出生数の推移】(参考)

	H24		H25		H26		H27		H27-H26(増減数)		H27/H26(増減率)	
盛岡市の人口(推計人口)	299,568		300,102		300,592		300,116		▲476		▲0.00	
うち女性人口(総数)	157,574		157,926		158,213		157,937		▲276		▲0.00	
	女性人口	出生数	女性人口	出生数	女性人口	出生数	女性人口	出生数	女性人口	出生数	女性人口	出生数
"(15歳～49歳)	66,282	2,443	65,800	2,477	65,220	2,476	64,532	2,401	▲688	▲75	▲0.01	▲0.03
"(15歳～19歳)	7,752	26	7,353	27	7,177	30	7,004	23	▲173	▲7	▲0.02	▲0.23
"(20歳～24歳)	8,779	274	8,860	232	8,670	230	8,596	226	▲183	▲4	▲0.01	▲0.02
"(25歳～29歳)	8,875	752	8,697	813	8,634	703	8,382	693	▲492	▲10	▲0.03	▲0.01
"(30歳～34歳)	9,565	836	9,434	817	9,333	890	9,175	842	▲388	▲48	▲0.02	▲0.05
"(35歳～39歳)	11,016	481	10,944	504	10,693	531	10,340	510	▲673	▲21	▲0.03	▲0.04
"(40歳～44歳)	10,547	74	10,714	84	10,945	91	11,029	103	▲482	12	0.01	0.13
"(45歳～49歳)	9,748	0	9,798	0	9,768	1	10,006	4	238	3	0.02	3.00

過去4年の状況を見ると、総人口及び女性人口(総数)は横ばいの推移となっているが、5歳階級別で出生数が生じる15歳から49歳までの女性人口は、24年の66,282人から27年には64,532人と1,750人減少している。

合計特殊出生率(※)は、26年は1.35、27年は1.37とほぼ横ばいであることから、出生数の減少は、子どもを出産する年齢の女性人口の減少の影響が大きいと考えられる。

(※)合計特殊出生率は、当該年を含めた過去5年間の平均値。

合計特殊出生率 = {母の年齢別出生数 / 年齢別女子人口}

15歳から49歳までの合計

¹ 達成度：目標値を上回っている⇒◎，現状値に比べ、改善…○，現状値に比べ、停滞又は後退…△

戦略1 結婚の希望に応える支援

【KPI】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度
いきいき岩手結婚サポートセンターの成婚実績数（県内実績）	組	—	0	50	△

（参考） 同センター登録者数 494人（平成28年4月10日現在）

盛岡市分 男性83人，女性83人 合計166人

同センター成婚実績数 3組（平成28年8月末現在）

【現状分析と今後の方向性】

- いきいき岩手結婚サポートセンター登録者数は、平成28年4月10日現在、県内実績で494人、うち盛岡市分が166人で、成婚実績数（KPI）は県内実績3組となっていることから、徐々に取組の成果が上がっている。今後は、若い世代の結婚への関心を高めることや、結婚をサポートする人材を養成することにより、いきいき岩手結婚サポートセンターの効果を相乗的に高めることが肝要である。
- 28年度は、新たに若者世代を対象とする「ライフデザイン支援事業」や結婚への相談・助言を行う人材を養成する「結婚支援人材養成事業」に取り組むほか、一定所得以下の結婚世帯を対象に住居費等を補助する「結婚新生活支援事業」に取り組むこととしている。（8月補正予算対応）

【取組事業】

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29以降
1-1-1 いきいき岩手結婚サポートセンターの運営への参画			
1-1-2 ライフデザイン支援事業			
1-1-3 結婚支援人材養成事業			



地方創生の交付金を活用



市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

戦略2 安心して子どもを産み育てられる環境整備

【KPI】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度
保育所待機児童数(H26はH27年度当初数値,H27はH28年度当初数値)	人	9 (H27.4.1)	0 (H28.4.1)	0 (H32.4.1)	◎
市民アンケートで「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	%	15.5	13.3	40.0	△
市民アンケートで「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合	%	19.3	22.0	14.5	△
子育て支援サービス利用者数	人	69,276	76,691	74,000	◎

【現状分析と今後の方向性】

- 保育所待機児童数（KPI）は、H27（平成28年4月1日現在）は「0」であり、定員拡大や認定保育園への取り組みなど多様な事業の実施により、目標を達成している。一方で、年度初めに希望する施設に入所できない、また年度途中に入所を希望する児童が入所できないなど、保育所入所の希望がかなえられない状況があることから、一層の待機児童解消への取組が必要となっている。今後についても、同様の取組を進めるほか、安定した保育サービスを提供するため、保育士不足への対応や保育士の処遇改善に取り組む。
- 「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合（KPI）及び「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合（KPI）は、いずれも数値の改善がみられないことから、その原因を見極めた対応が必要である。子育て世帯においては、経済的な負担を感じている世帯が多くあることや育児不安・悩みを解消できないことなどがその要因と考えられることから、子どもの健康や育児全般、教育など包括的な支援が必要である。
- 28年度は、育児不安の軽減を図るため、子育て世代包括支援センターを新たに設置するとともに、乳幼家庭全戸訪問事業の拡充、子ども未来基金を活用した「子ども子育て支援事業補助金」などに取り組む。また、育児世帯の経済的な負担軽減を図るため、医療費給付事業を拡充し、小学生に対する医療費助成を通院まで拡大するなど、育児に対するさまざまな負担軽減に総合的に取り組んでいる。

【取組事業】

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29 以降
1-2-1 待機児童解消強化事業	⇒	⇒ 拡充	⇒
1-2-2 少子化対策（子育て）支援事業【★】	⇒	⇒ 変更	⇒
1-2-3 私立児童福祉施設等運営事業 （子ども未来課）（子育てあんしん課）	⇒	⇒ 拡充	⇒
1-2-4 保育所管理運営事業	⇒	⇒	⇒
1-2-5 特別保育事業	⇒	⇒	⇒
1-2-6 地域児童クラブ運営事業	⇒	⇒ 拡充	⇒
1-2-7 放課後児童健全育成事業実施施設整備補助 事業【★】	⇒	⇒	⇒
1-2-8 児童館管理運営事業	⇒	⇒ 拡充	⇒
1-2-9 医療給付事業（妊産婦，乳幼児，小学生）	⇒	⇒ 拡充	⇒
1-2-10 母子保健事業	⇒	⇒	⇒
1-2-11 乳幼児健康診査事業	⇒	⇒	⇒
1-2-12 小児救急輪番制病院事業	⇒	⇒	⇒
1-2-13 地域における子育てサロン支援事業	⇒	⇒	⇒
1-2-14 地域子育て支援センター事業	⇒	⇒	⇒
1-2-15 つどいの広場管理運営事業	⇒	⇒	⇒
1-2-16 赤ちゃんの駅設置事業	⇒	⇒	⇒
1-2-17 乳児家庭全戸訪問等事業【★】	⇒	⇒ 拡充	⇒
1-2-18 公民館による子育て関連講座（各公民館）		⇒ 拡充	⇒
1-2-19 空き家バンク制度の普及	⇒	⇒	⇒
1-2-20 子どもに安心して教育を受けさせるための 取組	⇒	⇒	⇒
1-2-21 子育て世代包括支援センター事業	⇒	⇒ 変更	⇒
1-2-22 第3子以降の保育所・幼稚園の保育料無償 化事業			⇒

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29以降
1-2-23 子どもの生活実態調査事業		⇒	⇒
1-2-24 子育て支援員研修事業		⇒	⇒
1-2-25 地域における児童サポート応援事業			⇒
【新規】子育て応援プラザ事業		⇒	⇒
【新規】子ども未来基金事業（子ども・子育て支援事業補助金）		⇒	⇒

【★】・・・平成27年度から新規に取り組んでいる事業

⇒ 地方創生の交付金を活用 ⇒ 市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

戦略3 ワーク・ライフ・バランスの推進

【KPI】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度
ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数	社	—	35	120	○

【現状分析と今後の方向性】

- ワーク・ライフ・バランスの推進については、27年度に新たに取り組み、企業等（人事担当者等）に対する研修会の実施や情報提供に努めているが、今後についても、ワーク・ライフ・バランスの重要性について、多くの企業経営者や子育て家庭、子育て中の父親などに繰り返し周知しながら、実践につながるよう取り組んでいく必要がある。
- ワーク・ライフ・バランス表彰事業については、岩手県が「働き方改革アワード」を実施することから、連携を図り一体的な取組を行うとともに、企業が表彰を受けられることができるよう、表彰制度の周知を図る必要がある。

【取組事業】

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29以降
1-3-1 ワーク・ライフ・バランス推進事業【★】			
1-3-2 ワーク・ライフ・バランス表彰事業			
1-3-3 父親ハンドブック交付事業			

【★】・・・平成27年度から新規に取り組んでいる事業

 地方創生の交付金を活用  市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

基本目標２ 若者・女性がやりがいと魅力を感じられるしごとの創出

【数値目標】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度 ¹
盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合	%	66.3	67.3	70.0	○
大学卒業生の地元就職率	%	45	45.1	55	○
盛岡公共職業安定所管内の雇用保険適用事業所数	社	8,356	8,397	8,700	○

- 「盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合」は、27年67.3%となっており、前年比1ポイント上昇している。
- 「大学卒業生の地元就職率」は、27年45.1%となっており、横這いとなっている。27年9月から岩手大学が中心となり取組を始めた、大学、県市町村、企業との連携による「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COCプラス）」の取組を一層推進する。

【県内学卒者の県内就職率（%）】（参考）

		H26	H27		H28	H29	H30	H31
		現状値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値	目標値
岩手大学	就職者数	696	696	731	696	696	696	646
	県内就職者数	257	274	278	292	309	327	303
	定着率	36.9%	39.4%	38.0%	42.0%	44.4%	47.0%	46.9%
岩手県立大学	就職者数	373	373	411	373	373	373	373
	県内就職者数	166	173	186	181	188	196	203
	定着率	44.5%	46.4%	45.3%	48.5%	50.4%	52.5%	54.4%
（県立大） 盛岡短大	就職者数	73	73	73	73	73	73	73
	県内就職者数	53	54	45	56	57	59	60
	定着率	72.6%	74.0%	61.6%	76.7%	78.1%	80.8%	82.2%
（県立大） 宮古短大	就職者数	76	76	75	76	76	76	76
	県内就職者数	55	57	47	58	60	61	63
	定着率	72.4%	75.0%	62.7%	76.3%	78.9%	80.3%	82.9%
盛岡大学	就職者数	371	371	358	371	371	371	371
	県内就職者数	225	232	245	238	245	252	258
	定着率	60.6%	62.5%	68.4%	64.2%	66.0%	67.9%	69.5%
富士大学	就職者数	161	161	148	161	161	161	161
	県内就職者数	49	52	36	55	59	62	65
	定着率	30.4%	32.3%	24.3%	34.2%	36.6%	38.5%	40.4%
一関高専	就職者数	96	96	90	96	96	96	96
	県内就職者数	18	19	14	21	22	24	25
	定着率	18.8%	19.8%	15.6%	21.9%	22.9%	25.0%	26.0%
合計	就職者数	1,846	1,846	1,886	1,846	1,846	1,846	1,796
	県内就職者数	823	861	851	901	940	981	977
	定着率	44.6%	46.6%	45.1%	48.8%	50.9%	53.1%	54.4%

出展：いわてふるさと創造協議会（COC+）資料

¹ 達成度：目標値を上回っている⇒◎、現状値に比べ、改善…○、現状値に比べ、停滞又は後退…△

戦略4 経済の好循環の促進

【KPI】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度
卸・小売の年間販売額	億円	10,724	—	11,300	
製造品出荷額等	千万円	9,148	—	9,605	

【現状分析と今後の方向性】

- 卸・小売の年間販売額（KPI）は、商業統計調査の実施が5年ごと（次回調査は平成31年）のため数値はないが、岩手県内経済情勢報告（盛岡財務事務所28年7月）によると個人消費は前年から横這い傾向であることから、卸・小売の年間販売額も同様にあるものと考えられる。
- 製造品出荷額（KPI）は、工業統計調査が平成28年実施のため数値はないが、岩手県内経済情勢報告（盛岡財務事務所28年7月）によると前年の低下傾向からやや回復傾向にあるものの、低い水準であることから、出荷額においても同様にあるものと考えられる。企業誘致や既存事業所の経営力強化、起業の支援などの取組が必要である。
- 卸・小売の年間販売額を増加させるため、新規出店者の空き店舗の利用を促進する「商店街空き店舗活用促進事業」などに取り組むとともに、個店の魅力向上を図る「個店魅力アップ支援事業」の実施を検討している。
- 製造品の出荷額を増加させるため、27年度から、新たな企業集積を図るため、新産業等用地の候補地の選定などに取り組むとともに、圏域内の経済循環と付加価値を創造するため、農産物等生産者と飲食店等のマッチングを行う「まちなかマッチング事業」に取り組んでいる。

【取組事業】

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29以降
2-4-1 工場新設拡充等事業	⇒	⇒	⇒
2-4-2 盛岡広域企業誘致推進事業【◎】	⇒	⇒	⇒
2-4-3 盛岡市新産業創造推進事業【★】	⇒	⇒ 変更	⇒
2-4-4 地域経済好循環推進事業【★】	⇒		
2-4-5 まちなかマッチング事業【★】	⇒	⇒	⇒
2-4-6 商店街空き店舗活用促進事業	⇒	⇒	⇒

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29以降
2-4-7 盛岡広域資源新市場開拓事業【★】			
2-4-8 国際リニアコライダー誘致推進事業			
2-4-9 新規就農・経営継承総合支援事業			
2-4-10 市産材利用拡大推進事業			
2-4-11 個店魅力アップ支援事業			

【★】・・・平成27年度から新規に取り組んでいる事業

【◎】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

 地方創生の交付金を活用  市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

戦略5 地域経済を担う人材・企業の育成

【KPI】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度
市インキュベーション施設の稼働率	%	75.9	77.2	75.9	◎

(参考) 市インキュベーション施設は、市産業支援センター、市産学官連携研究センター、市新事業創出支援センター。

【現状分析と今後の方向性】

- 市インキュベーション施設の稼働率（KPI）は、入居者が増加したことから、やや上昇・維持されており、産学官連携による人材の育成と創業支援の取組の成果が表れている。一方で、インキュベーション施設の修了者が市内に立地・定着できるよう支援を充実させる必要がある。
- 人材・企業の育成のため、「起業家塾@もりおか」の開催する「創業支援事業」に取り組みとともに、28年度から都市型産業を育成する「クリエイティブ産業育成事業」に取り組んでいる。

【取組事業】

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29以降
2-5-1 創業支援事業【◎】	⇒	⇒	⇒
2-5-2 盛岡市クリエイティブ産業育成事業補助金		⇒	⇒
2-5-3 盛岡市産学共同研究事業補助金【◎】	⇒	⇒	⇒
2-5-4 市インキュベーション施設の管理運営事業【◎】	⇒	⇒	⇒
2-5-5 女性の起業・就労支援事業	⇒	⇒	⇒
2-5-6 伝統産業振興事業	⇒	⇒	⇒
2-5-7 企業成長応援事業			

【◎】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

 地方創生の交付金を活用
  市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

戦略6 地元企業への就職の促進

【KPI】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度
ジョブカフェいわての利用者数	人	30,080	32,310	31,000	◎

【現状分析と今後の方向性】

- ジョブカフェいわての利用者数（KPI）は、約2,000人（+7%）増加しており、若者等の地元企業への関心が高まっている結果と考えられる。
- 地元企業への就職を促進するため、27年度から、首都圏等に在住する大学生・既就職者等を対象に「UIJターン就職支援事業」に取り組むとともに、高校生及び関係者に対する地元企業の情報を提供する「高校生等地元定着支援事業」に取り組んでいる。また、大学生の地元就職率の向上を目指して、岩手大学を中心に取り組んでいる「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」との連携を強める。

【取組事業】

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29以降
2-6-1 UIJターン就職支援事業【★】		 変更	
2-6-2 高校生等地元定着支援事業【★】【◎】			
2-6-3 若年者雇用対策事業			
2-6-4 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業への参画			

【★】・・・平成27年度から新規に取り組んでいる事業

【◎】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

 地方創生の交付金を活用  市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

基本目標3 東北の中核都市としての魅力・求心力の向上

【数値目標】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度 ¹
20歳から39歳までの人口移動数	人	△107	△315	0	△
うち転入	人	6,439	6,464		
うち転出	人	6,546	6,779		
観光客入込数	万人回	497	509	500	◎

- 「20歳から39歳までの人口移動数」は27年△315人となっており、若者世代の首都圏や宮城県への転出超過が続いているものと考えられる。
- 「観光客入込数」は、26年497万人回、27年509万人回となっているが、観光客入込数は、イベント実施や景気状況、災害など、さまざまな要因から変動するものと考えられる。日本各地で誘客のための戦略的な取組を行っており、本市においても広域的な連携を図り、更なる魅力・求心力の向上を目指す必要がある。

¹ 達成度：目標値を上回っている⇒◎，現状値に比べ，改善…○，現状値に比べ，停滞又は後退…△

戦略7 盛岡ファン・交流人口の増加

【K P I】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度
宿泊観光客数	万人回	98	97	110	△
外国人観光客入込数	万人回	1	1.4	2	○

【現状分析と今後の方向性】

- 宿泊観光客数（K P I）は、27 年は 97 万人回と横這いとなっている。一方で、外国人観光客入込数（K P I）は、1.4 万人回と増加している。国の新観光戦略では訪日外国人旅行客の目標を 4,000 万人とするなど、訪日客は増加傾向にあるが、東北において訪日客は少ないため、本市においても外国人の受入環境の整備などが課題となっている。
- 宿泊観光客数を増加させるため、27 年度から「M I C E 誘致推進事業」に取り組むとともに、「教育旅行誘致推進事業」や「祭り・イベント振興事業」「広域観光推進事業」など更なる魅力の向上に取り組んでいる。
- 外国人観光客入込数を増加させるため、27 年度から「外国人観光客受入推進事業」により、W i - F i 整備（通信環境）や免税店の促進、ホームページの改良など外国人の受入環境の整備に取り組むとともに、台湾やタイなどへのプロモーションにも広域的な連携を図りながら取り組んでいる。
- 盛岡ファン・交流人口の拡大に資するため、「盛岡ブランド確立事業」や「北上川ゴムボート川下り大会参加促進事業」「盛岡芸妓育成事業」「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会への参画」などにより、盛岡ならではの魅力発信に努めるとともに、28 年度から、盛岡の特産品を返礼品とする「ふるさと納税制度の普及」に取り組んでいる。

【取組事業】

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29 以降
3-7-1 シティプロモーションの推進		⇒	⇒
3-7-2 盛岡ブランド確立事業	⇒	⇒	⇒
3-7-3 スポーツ・ツーリズムの推進【◎】	⇒	⇒ 変更	⇒
3-7-4 北上川ゴムボート川下り大会参加促進事業【★】	⇒	⇒ 変更	⇒
3-7-5 盛岡芸妓育成事業【★】	⇒	⇒	⇒

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29以降
3-7-6 外国人観光客受入推進事業【★】【◎】			
3-7-7 教育旅行誘致推進事業【★】【◎】		 拡充	
3-7-8 開運橋魅力向上事業【★】			
3-7-9 盛岡デー等観光PR事業			
3-7-10 祭り・イベント振興事業			
3-7-11 MICE誘致推進事業【★】【◎】			
3-7-12 広域観光推進事業【◎】			
3-7-13 いしがきミュージックフェスティバル実行委員会への参画			
3-7-14 ふるさと納税制度の普及		 拡充	
3-7-15 盛岡ファン・コミュニティの活動支援			

【★】・・・平成 27 年度から新規に取り組んでいる事業

【◎】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

 地方創生の交付金を活用  市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

戦略 8 地元への愛着の形成，移住・定住の促進

【K P I】

指標	単位	H26	H27	H31 目標値	達成度
UIJターン相談件数	件	4	8	120	○
高校生による地域福祉課題解決プログラム構築事業・地域福祉中核人材育成事業参加者数	人	0	152	270	○

【現状分析と今後の方向性】

- UIJターン相談件数（K P I）は，27年度8件と少ない状況にある。
- 高校生による地域福祉課題解決プログラム構築事業・地域福祉中核人材育成事業参加者数（K P I）は，27年度から「地域福祉中核人材育成事業」に取り組み，地域における福祉活動の中核的な担い手の育成を図るための研修を実施していることから，152人となっており，今後も，事業を推進し，人材を育成しながら住みよい地域の形成を図っていく。
- 地元への愛着の形成，移住・定住の促進については，幼児期からの郷土愛の形成や盛岡の魅力を磨き上げ「選ばれるまち」となっていく必要がある。そのためには，さまざまな角度からの取組が必要となっている。

【取組事業】

事業	現状と今後の取組		
	H27	H28	H29以降
3-8-1 地域福祉中核人材育成事業【★】	➡	➡ 変更	➡
3-8-2 盛岡広域UIJターン促進事業			➡
3-8-3 社会貢献型お試し居住事業			➡
3-8-4 2地域居住等促進事業			➡
3-8-5 定住化対策空き家利用促進事業			➡
3-8-6 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業への参画(再掲)	➡	➡	➡
3-8-7 「地域おこし協力隊」制度の活用に関する検討		➡	➡
3-8-8 高校生を中心とした地域福祉課題解決プログラム			➡
3-8-9 地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進事業		➡	➡

【★】・・・平成27年度から新規に取り組んでいる事業

➡ 地方創生の交付金を活用 ➡ 市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

【数値目標およびKPI一覧】

基本目標	指標名		単位	H26	H27	H31 目標値	達成度	出典
切れ目のない結婚・出産・子育て支援	数値目標	出生数(各年1月1日現在)	人	2,476	2,401	2,476	△	保健福祉年報
		婚姻件数(各年1月1日現在)	件	1,527	1,588	1,527	◎	保健福祉年報
	KPI(戦略1)	いきいき岩手結婚サポートセンターの成婚実績数(県内実績)	組	-	0	50	△	子ども未来課調べ
	KPI(戦略2)	保育所待機児童数 (H26はH27年度当初数値, H27はH28年度当初数値)	人	9	0	0	◎	子育てあんしん課調べ
		市民アンケートで「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	%	15.5	13.3	40.0	△	市民アンケート調査
		市民アンケートで「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合	%	19.3	22.0	14.5	△	市民アンケート調査
		子育て支援サービス利用者数	人	69,276	76,691	74,000	◎	子ども未来課調べ
KPI(戦略3)	ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数	社	-	35	120	○	地域福祉課調べ	
若者・女性がやりがいと魅力を感じられることの創出	数値目標	盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合	%	66.3	67.3	70.0	○	経済企画課調べ
		大学卒業生の地元就職率	%	45	45.1	55	○	企画調整課調べ
		盛岡公共職業安定所管内の雇用保険適用事業所数	社	8,356	8,397	8,700	○	経済企画課調べ
	KPI(戦略4)	卸・小売の年間販売額	億円	10,724	-	11,300	/	商業統計調査
		製造品出荷額等	千万円	9,148	-	9,605	/	工業統計調査(H28.6.1実施)
	KPI(戦略5)	市インキュベーション施設の稼働率	%	75.9	77.2	75.9	◎	企業立地雇用課調べ
KPI(戦略6)	ジョブカフェいわての利用者数	人	30,080	32,310	31,000	◎	経済企画課調べ	
東北の中核都市としての魅力・求心力の向上	数値目標	20歳から39歳までの人口移動数	人	△107	△315	0	△	住民基本台帳人口移動報告
		うち転入	人	6,439	6,464	/	/	
		うち転出	人	6,546	6,779	/	/	
		観光客入込数	万人回	497	509	500	◎	観光交流課調べ
	KPI(戦略7)	宿泊観光客数	万人回	98	97	110	△	観光交流課調べ
		外国人観光客入込数	万人回	1	1.4	2	○	観光交流課調べ
	KPI(戦略8)	UIJターン相談件数	件	4	8	120	○	企画調整課調べ
高校生による地域福祉課題解決プログラム構築事業・地域福祉中核人材育成事業参加者数		人	0	152	270	○	地域福祉課調べ	

数値目標：行政活動により住民にもたらされた便益に関する数値目標

KPI：施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標 「-」は当該年度の数値なし

達成度：目標値を上回っている⇒◎、現状値に比べ、改善…○、現状値に比べ、停滞又は後退…△